

中野区立第二中学校
令和5年度 生活指導部 部活動担当 「部活動発足についての基本方針」

1 中野二中 部活の現状

- ・ 顧問が異動に伴い不在になった際、基本は新しく転任された教員に一年間その部活動の顧問になってもらい、必要があれば部活動指導員等をとる。
部員が集まらず、顧問もない場合は管理職と部活担当で話し合い、職員会議で提案した上で新入部員を募集せず、三年生が卒業した後に休部という形をとるケースもある。
- ・ 本校の学校規模に於いて、部員が分散することで、各部の運動部の人数が足りず試合に出ることができないという現状も出てきている（特に校庭の部活）。従って、現状ではこれ以上、部活の数を増やすのは非常に難しい状況である。

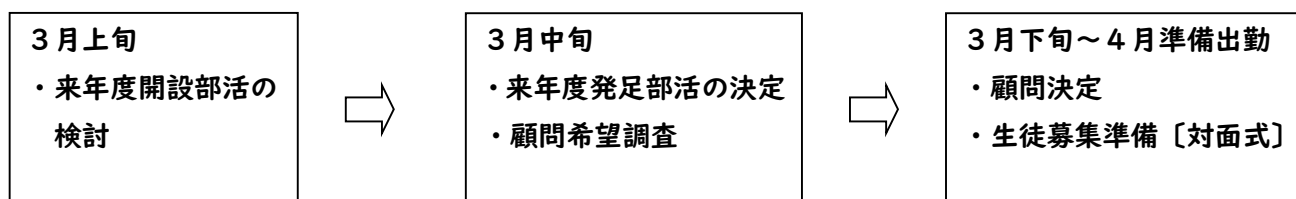
2 基本方針

- ・ 部活動の教育的効果は高く、学校経営方針のもと教育課程外ではあるが、生徒の活動場所を可能なかぎり保障するため、原則として全員で顧問を担当する。また、活動日が多い部活動（特に運動部）などは、可能な限り複数で顧問を担当する。
- ・ 現在は上記に記したとおり、新設は厳しい。しかし、教員がもつ専門性を活かさないことにもなるので、新設の希望が出て条件がクリアできるようならそれを認め、1年間の準備期間を設けた後、新設していく。

3 顧問の種類

- ・ 顧問：すべてを管理、運営する。部活動指導員を置くことができる。
- ・ 管理顧問：部活の技術指導以外をすべて管理、運営する。大会引率を含む。外部指導員を置くことができる。
- ・ 登録顧問：校内での活動はしない。大会参加の手続きをする。場合によっては引率もあり得る。

〔顧問決定までの流れ〕



4 希望調査の取り方

- ・ まずは現存部活で、顧問の希望をとる。休部になる部がある場合それを確認し、新設部活の立ち上げの希望をとる。

5 顧問欠員部活の検討

- ・ 原則的には新3年生の活動を現役引退時まで保証する。新2年については、新体制になった時の部員数、活動状況、生徒のニーズ等を総合的に判断し方向性を決定する。現状として、本校では転任された教員に専門でなくとも管理顧問として一年間顧問欠員部活に入ってもらおう体制をとっており、顧問がいないから新入部員募集をしないということにならないようにする。

定期考査中の部活動の活動時間について

■ 「部活動のきまり」より、活動期間・時間は以下の通りに決められている。

- (1) 年間を通じて、基本は4時～6時15分頃を目安とし、6時30分までに完全 下校。
- (2) 定期テスト1週間前は、基本的に活動を中止とする。

原則、(1)にあるように、定期テスト1週間前は、基本的に活動を中止している。
ただし、公式戦などが入る場合には以下の通りにする。

- ① 活動する場合には、朝打ちで連絡する。
また、職員室正面黒板に、活動日、活動時間等を記入すること。
- ② 活動時間は部や大会の状況等に応じ、管理職とも相談の上で決定する。
再登校をする場合には学習時間が確保できるよう、練習開始時間、移動時間を配慮する
例：●水曜日の場合→会議などがあるため、4時再登校で1時間程度練習
- ③ 定期テスト当日は、原則中止する。
- ④ 公式戦が定期テストの前にある場合には、公式戦が終了した時点で、定期テストまでは活動を中止する。

★採点時間確保の観点から、定期考査最終日まで部活動は行わない。

3年生 受験後の部活動参加の基本方針

- (1) 3年生の活動参加は、都立合格発表日から可能とする。
- (2) 活動する場合は顧問に相談や確認をして了承を得て参加する。部活の方針にもよるが、原則は決められた活動日にきちんと参加し、下級生と同じいち部員としてふるまう。
- (3) 活動のルールは今までと同じ。基本的には4時から最長6時15分まで活動する。
- (4) 進路に向けて(スポーツ推薦等)、部活動の必要性がある場合は上記の限りではない。ただし、本人と顧問の関係で判断せず家庭、教職員一同の理解のもと行うものとする。